

2017年度JQAA総会 資料

於 日本生産性本部
2017年4月19日（水）

議事次第



1. 開会の辞
2. 主催者挨拶
3. 会員数確認
4. 議長選出

< 議案 >

1号議案：2016年度活動および収支報告の承認

- ① 2016年度各部活動
- ② 2016年度活動収支報告

2号議案：2017年度活動計画の承認

- ① 活動基本方針
- ② 組織体制
- ③ 各部活動計画
- ④ 2017年度活動収支計画

3号議案：役員を選任

- ① 役員候補受付・紹介
- ② 役員選出
- ③ 新役員代表挨拶

1号議案



2016年度活動及び収支報告の承認

- ① 2016年度各部活動成果
- ② 2016年度活動収支報告

3

改革支援部 2016年度活動報告その1



企業現場の改革支援、地域協議会の活性化支援を実践していくための初年度と位置付け活動した。

■ 認知拡大活動

- 改革支援部の認知度を向上させるため、大手企業、中小企業など10数社を回り、認知拡大活動を行った。

■ 埼玉県経営品質協議会関係

- 校條理事長が「顧客価値経営フォーラムin埼玉（5月24日）」において基調講演を行った。
- 埼玉県経営品質協議会主催「顧客価値経営セミナー導入編（全3回）」を支援し、当部運営委員3名が講師を務めた。

回	開催日	テーマ	内容	講師
1	6月22日(水)	価値提供	お客様の立場で考える	田原
2	7月20日(水)	顧客認識・競合認識	事業を成長させる	橋本
3	8月24日(水)	経営資源認識	人材が育つ	末吉

4

改革支援部 2016年度活動報告その2



- 富山県経営品質協議会(以下、TMQA)関係
 - TMQA公開講座「よしやるぞ!の経営革新(末吉理事)」(全5回 10月～3月)を実施し、参加者は14名(3社)であった。
 - 講座担当の末吉理事が2016年度TMQA顧問に任命された。
 - TMQA総会(7月21日)で、校條理事長が講演した
- 新潟県経営品質協議会関係
 - 新潟経営品質協議会勉強会(3月2日)で校條理事長講演
- AAP(アドバンスド・アセスメント・プログラム)Ⅰ期～Ⅳ期総括
 - 経営革新に必要な基本的な「教養と知識」を身に着けるために、岡本顧問をお願いして設置し、述べ65名が受講した。
 - 「コンサルティング能力」「顧客インサイト」「ストーリー性ある記述と審査」など日本経営品質賞や経営革新に必要なテーマを取り上げて、習得した。

5

実践研究部 2016年度活動報告



- 2016年度の活動(第12期)も当初予定の6回開催し、無事終了した。
- 討議課題: インキュベーション人材の育成テーマが最多
- 参加率: 12期メンバー50%、運営側(理事・運営委員)79%
- 活動内容
 - 2016年度は「今までとは違った新しい事業活動への取り組み」という観点から、新しい事業起案を、自ら考え・起案し、さらに経営層に対して行動している実際の活動を基に、ワークショップ形式で話し合った。
 - 組織で改革を推進している参加者が自らの活動を発表しながら、全員で振り返ることによって、自身の力量と後進への育成という課題が顕在化でき、事業企画プロセスをテーマとして取り上げたことは良かった。今後は参加率の向上と運営側の支援力強化を図っていくことが課題である。

講演部 2016年度活動報告その1



■ 実績

- 5回実施（昨年比1回増）し、また1回あたりの参加人数は増加したことから、講演収支もプラスとなった。
- 経営品質協議会個人会員の参加も増加し、連携強化に寄与した。

■ 振り返り

昨年度に比べて総じてステップアップができた。

- 先端企業の実践事例は関心度が高く評価が高い。
- 参加人数は増加したものの現状では多くて30名が実力になっている。
- 講演回数を増やすことよりはむしろ1回あたりの参加人員の増加をすすめていくことが重要課題。

7

講演部 2016年度活動報告その2



開催日	4月11日	6月22日	9月14日	11月10日	1月25日
講演テーマ	「真のリーダー育成」とは～感情はビジネスに欠かせない～	ビジネスモデル見える化入門～イノベーションはビジネスモデルの評価から始まる～	グローバル化時代における経営革新とリーダーシップ	花王の人財戦略に学ぶ事業成長を支える「花王ウェイと人財開発」	やってみなきゃわからない！事業化プロセスの革命！
講演者	ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス取締役 島田 由香様	キュー・エム・コンサルティング（有）取締役社長 松原恭司郎様	明治大学教授 日本経営品質賞判定委員 小笠原 泰様	花王グループカスタマーマーケティング（株）人財開発部門企画部長 水谷 秀之様	Lean Startup Japan LLC 代表社員 和波 俊久様
参加者数 (JQAC個人会員)	34 (10)	25 (11)	30 (15)	29 (10)	21 (9)
内容満足度	86%	78%	75%	74%	74%

8

アセッサージャーナル24号発行



経営品質アセッサージャーナル

2017年2月1日発行 通巻24号

実践！経営革新

Assessors Journal

アセッサージャーナル

アセッサールと経営革新に取り組む人々のための情報誌

激変の年を乗り切る 大変革の企業群

第24号

企業が生き残るための
成功のストーリー！







ストーリーでイノベーションに取り組む
 第一生命保険「最大たるより最良たれ」
 顧客視点での新しい価値提供

MPC代表取締役 岡本 正敬
 第一生命保険株式会社 平本 洋
 福井県済生会病院 事務部長 齊藤 哲哉

総合結婚式場から記念事業体志費館へ
 人と建物を育む愛の環境サービス
 「革新の建物が伝統を築きあげる」～茨城県大岡青果～

新潟県藤原社代表役員/近畿野田Q&W代表 齋藤 伸雄
 新日本ビルサービス株式会社 代表取締役社長 岡根 一成
 茨城県経営品質協議会 運営委員長 三宅 邦之


経営品質アセッサージャーナル

9

➤ 「激変の年を乗り切る大変革の企業群」と題し、経営品質向上活動により生き残りのために成功のストーリーを綴り、大変革に取り組み、素晴らしい成果を上げている各地域の企業をの活動を掲載した。各地域の企業を集中的に取り上げたことは効果的であった。

➤ 岡本JQAA顧問、小笠原先生に寄稿を依頼、第一生命、福井県済生会病院など受賞後の取り組みを掲載した。


広報部 2016年度活動報告






経営品質アセッサージャーナル

- 集客活動強化 【3月31日現在】
 - JQAA通信を22回配信し、情報発信と講演等の集客支援を行った。メルマガ登録者（アセッサール及びOB以外）は98名（前年比11名増）となった。
 - アセッサージャーナルの販売促進については、特に2月の顧客価値経営フォーラムではブースを特設の上、最新刊24号の販売を開始。その後の直接販売及びJQACのWeb販売により、合計179冊を販売。
- Webサイトの充実
 - 新Web構築方針を固め、各部コンテンツ提供担当者とも連携し、3月2日体験会も実施し、新Web移行を推進。（正式稼働は5/24主催講演後を想定）
- 経営品質協議会と連携した宣伝活動
 - 認定セルフアセッサールの更新時の請求書にJQAAの紹介のチラシを同封していただき、活動の周知と知名度向上を図っている。
 - アセスメントコースA3研修修了時や顧客価値経営フォーラム等で紹介チラシを配布させていただき、JQAAの周知に取り組んだ。
- JQAA運営体制強化
 - 3月末の運営委員は67名（期初より6名増）。

10

2016年度活動収支報告		 経営品質アセッサーフォーラム
収入の部		
①講座・講演・研究会及び中小企業改革支援活動 講演（5回/年）、実践研究会（11期他）等	732,550	
②広報・出版活動	306,300	
③その他雑収入	166,012	
合計	1,204,862	
2. 支出の部		
①講座・講演・研究会及び中小企業改革支援活動	565,347	
②広報・出版活動	197,818	
③その他支出	367,971	
合計	1,131,136	
収支合計	73,726	
3. 前期からの繰越金	1,468,366	
4. 残高（繰越金）	1,542,092	
＜残余資産＞		
合計	172,810円	
	内訳）PC：1円、JQAジャーナル在庫 172,809円（607冊分）	11

2016年度活動収支報告（監査結果）		 経営品質アセッサーフォーラム
監査報告書		
経営品質アセッサーフォーラム		
理事長 校條 亮治 様		
2017年4月7日		
監 事		
加藤 修明 		
吉川 博章 		
2016年度会計監査		
<p>当監事は、経営品質アセッサーフォーラムの規約に基づき、 2016年度(期間:2016年4月1日から2017年3月31日)における、 同フォーラム活動に関わる会計報告書を監査した結果、会計処理は公正と 認められる手続きによって行われていることを確認いたしましたので、 その旨、監査報告いたします。</p>		
以 上		
12		

2号議案



2017年度活動計画の承認

- ① 活動基本方針
- ② 組織体制
- ③ 各部活動計画
- ④ 2017年度活動収支計画

13

2017年度活動基本方針



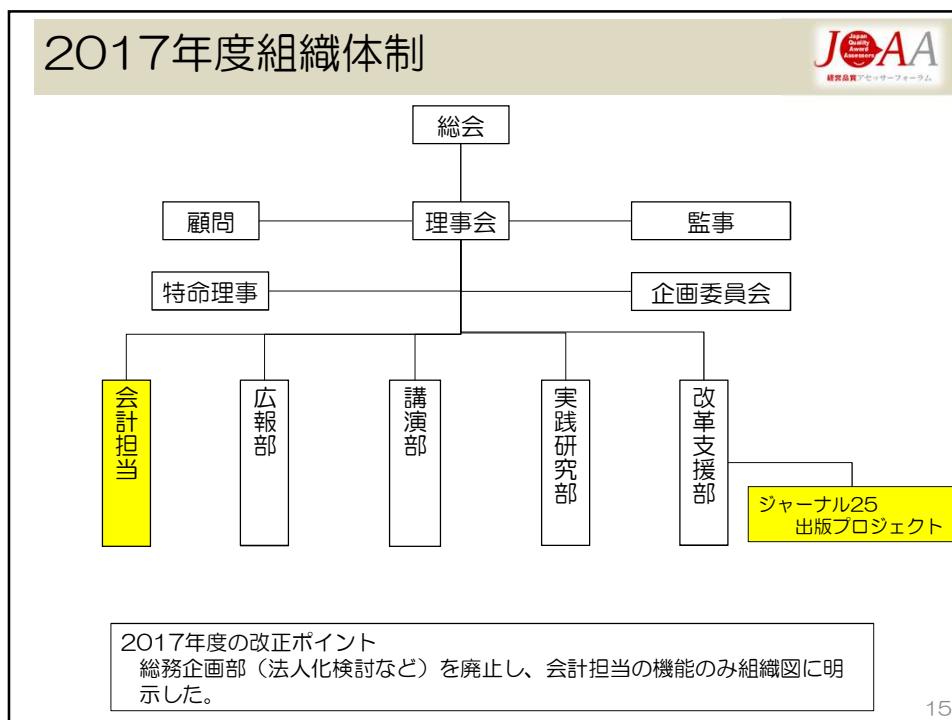
<基本方針>

我々の活動にご参加いただく皆様の期待に添えていくために、理事・運営委員の人的ネットワークを最大限活用しながら、JQAA内組織力の強化に取り組み、ご参加いただく皆様並びに運営委員の満足度をさらに高めていきます。

<重点項目>


- ① 中小企業等現場における改革支援の推進
- ② 講演の「さらなる質の追求」
- ③ JQAA Web等を活用した情報発信の強化
- ④ JQAAアセッサジャーナル25号の発刊

14



15

各組織概要（1）



名称	構成員	内容
総会	理事・運営委員	①運営委員の除名 ②理事及び監事の選任または解任 ③事業報告及び収支計算書並びに正味財産増減書の承認 ④定款の変更 ⑤会の解散及び残余財産の処分 ⑥その他、理事会において必要と認められた事項 ⑦その他、法令に準ずる事項
理事会	理事	①JQAAの業務執行の決定 ②理事の職務執行の監督 ③理事長及び副理事長の選定及び解職 ④特命理事の任命と解任 ⑤運営委員の承認
監事		①理事の職務執行の監査 ②監査報告書の作成
企画委員会	理事長、副理事長、部長	理事会の諮問機関 JQAA運営に関する企画立案、JQACからの要請を含むセミナー・講座コンテンツの企画立案、各部横断課題等の協議
顧問		理事会の求めによる助言
特命理事	運営委員	特命事項の活動（地域における活動支援等）

16

各組織概要（2）		
名称	構成員	内容
改革支援部	理事、運営委員	①中小企業の改革支援 ②セミナー・講座の開発・開催 ③地域・地協組織の活性支援
ジャーナル25出版プロジェクト	理事長、副理事長、部長、特命理事	④アセッサージャーナル25号の企画・作成
実践研究部	理事、運営委員	①少人数による経営革新の実例研究会の開催・運営 ②実践事例を基にした学習セミナーの企画・開催
講演部	理事、運営委員	経営革新に役立つJQAA講演の企画・開催
広報部	理事、運営委員	①JQAA広報に資する情報発信 ②各部会の開催イベントへの集客支援 ③運営委員拡大のための活動 ④顧客ならびに運営委員の情報管理
会計担当	理事	会計管理

17

改革支援部 2017年度活動計画	
<p>■ 方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 中小企業現場の改革支援、地域組織の活性化支援、並びに経営革新者の能力向上を目的に、確実な成果に結びつく活動を地道に行っていきます。併せて、当部運営委員の改革ノウハウ・経験をまとめた冊子を発行します。 ➢ JQAC、地域協議会、特命理事と協働して、プロジェクト体制で、アセッサージャーナル25号を発行します。 <p>■ 計画概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ JQAAのWeb、JQAAジャーナル誌や紹介講座を活用しながら、当部運営委員が長きにわたり現場改革に携わってきた専門スキルの認知向上に努めると共に、中小企業等の要請に応じ、現場の改革支援活動に取り組みます。 ➢ 関東近県を主体に各地域協議会と連携した活動を推進します。 ➢ 2017年度顧客価値経営フォーラム（2018年2月開催）での販売を目標に、アセッサージャーナル25号及び冊子作りに取り組みます。 	

18

実践研究部 2017年度活動計画



■ 方針

- 実践研究部は、自社の取組みを語り、他社の取組みに学ぶ、気づきによる相互研鑽の場です。それぞれの組織の中で活動しているメンバーの幅広い繋がりを支援します
- 対話を通じてメンバーの課題明確化や解決を支援します

■ 計画概要

- 実施期間：2017年6月～2017年12月迄 毎月1回開催
- 会場：都内
- 会費：年間1万円（運営諸経費等）
- 募集人数：5～10名位
- 部会の進め方：各自が議題や自社の取組みを発表
 - メンバー間で質疑応答・議論を行い、課題解決のヒント・気づきを得る
 - 課題や改革阻害要因の明確化、成功要因や改革成功のポイントを学ぶ

19

講演部 2017年度活動計画



■ 方針

経営品質の実効力を高め、理論・ノウハウ・事例を学ぶ

■ 講演会の目的

- 法人・組織の運営マネジメントおよび経営革新に関する気づきの場
- 参加いただく方々の交流の場

■ 計画概要

- 講演の「さらなる質の追求」
- 参加人員の増加のための「新たな試行」
- セルフアセッサーに寄り添う「お役立ち」

20

広報部 2017年度活動計画



■方針

- 経営革新を目指す方々やセルフアセッサー（OB含む）へ適確に広報し、協創（共創）の場づくり、知識・知恵・情報の提供に努めます。
- 各部の集客につながる活動を推進し、各部の活動時には、集客・販売目標達成に向け協働します。

■計画概要

- JQAAコンテンツの集客・販売への効果的な支援（通信・販売ブース等）
- リニューアルした新Webによる情報発信と運営安定化
- JQAA活動への理解・周知、及び活動を支える運営委員体制づくり

21

2017年度活動収支計画



収入の部	
①講座・講演・研究会及び中小企業改革支援活動 講演（5回/年）、実践研究会（12期）等	790,000
②広報・出版活動	300,000
③その他雑収入	0
合計	1,090,000
2. 支出の部	
①講座・講演・研究会及び中小企業改革支援活動	628,000
②広報・出版活動	200,000
③その他支出（総会、理事会会議室、交通費等）	380,000
合計	1,208,000
収支合計	▲118,000
3. 前期からの繰越金	1,542,092
4. 残高（繰越金）	1,424,092

22

3号議案



役員を選任

- ① 役員候補受付・紹介
- ② 役員選出
- ③ 新役員挨拶

23

役員を選任



役員退任に伴い、役員を選任を行いたい。

退任役員 (敬称略 50音順)

	氏名
理事	大川 幸弘
理事	奥田 啓之
理事	加藤 友成
理事	久保田 秀子
理事	小林 慶久
理事	渋谷 照夫
理事	末吉 進
理事	杉浦 正宣

	氏名
理事	瀬川 和彦
理事	武谷 一寿
理事	中西 章生
理事	平本 洋
理事	道添 順一
理事	校條 亮治
監事	加藤 修明

24

役員を選任



役員候補者

(敬称略 50音順)

	氏名
理事	大川 幸弘
理事	奥田 啓之
理事	加藤 友成
理事	小林 慶久
理事	渋谷 照夫
理事	末吉 進
理事	杉浦 正宣

	氏名
理事	瀬川 和彦
理事	武谷 一寿
理事	平本 洋
理事	道添 順一
監事	校條 亮治

25

2017年度体制 (案)



理事：15名、監事：2名、顧問：1名、特命監事：6名

(敬称略)

	氏名
理事	大川 幸弘
理事	奥田 啓之
理事	小田川 賢太郎
理事	加藤 友成
理事	小林 慶久
理事	渋谷 照夫
理事	末吉 進
理事	杉浦 正宣
理事	瀬川 和彦

	氏名
理事	武谷 一寿
理事	伴野 亮
理事	中野 康範
理事	平本 洋
理事	松野 幹孝
理事	道添 順一
監事	校條 亮治
監事	吉川 博章
顧問	岡本 正耿

特命理事	三宅 邦之
特命理事	高橋 清
特命理事	五味 由紀子

特命理事	平井 嘉人
特命理事	畑 薫
特命理事	鏝野 秀康

26